

# 困ったときの知恵袋

No. 168

## 【相談】



ユーザーから大径切削タップの加工で、切削油剤に「ペースト」をタップの食付き部に塗って加工していると聞いたのですが、「ペースト」とは何ですか？

## 【回答】

「ペースト」とは、粘度の高い切削油剤で、糊(のり)状の為、取り扱いが容易です。また、広範囲な被削材に対応しており、ボール盤やMCなど様々な工作機械にも使用することが出来ます。



## 【説明】

タップ加工では、「ペースト」を刷毛などに少量付け、タップの刃先や下穴に塗って使用します。

しかし、大量に塗りすぎると加工時の視認性が悪くなるため少量で十分です。

また、加工熱によって糊(のり)状から液体に変化し、刃先を保護します。

横中ぐり盤や門型MCなどの大型機械は加工時に近くで作業者が付いて的確に給油することができず、自動給油もできない場合があります。

その場合、水溶性切削油剤や不水溶性切削油剤は液体の為、流れ落ちてしまいますが、「ペースト」は、その場所に留まるので重宝されています。



## 〈注意点〉

「ペースト」を使用する上での注意点は、粘度が高いので塗布量が多いと切りくずがくっつきやすくなり、切りくずの噛み込みが発生することがあり、タップの欠け・折損に繋がりやすくなります。

「ペースト」は、加工中の熱で溶けますが、溶けにくい冬の寒い時期などは、不水溶性切削油剤と混ぜて使用されるユーザをお見かけします。

大径タップ使用ユーザーには、刃欠け対策を施した

『ハイブリッドバリュースパイラルタップ HVSP』の使用をお薦めします。

**Z-PRO**

 スチール用ハイブリッド  
バリュースパイラルタップ

**HVSP**


該当商品のパンフレットは、ここですよ。